



入牧のようす

た。  
早急に検討し、結論を出したいと思います。



梶浦 陽菜さん

**質問要旨** 今、幌延町では就農者が減少しています。いろいろな工夫をして新規就農者を募集していますが、過去に何人が新規就農したのでしょうか。

また、就農者を増やすためにどのような策を講じているので

すか。

**答弁要旨**

幌延町の酪農は、

親から子へ経営を引き継ぐ家族経営方針で営農が続けられてきました。しかし、農業者の高齢化が進むと同時に、後継者のいない農家の離農が相次ぎ、町外から新たに酪農を志す人を募り、新規就農者になってもう取り組みを始めました。  
新規就農を成功させるためには、町だけではなく、各関係機関に協力をいただき、営農資金等、様々な支援を必要とします。町では、平成25年3月に新規就農者支援に関する条例を制定しました。今までたくさんの方々から酪農実習に関する問い合わせを受け、昨年6月、熊本県出身の若いご夫婦が新規就農研修を終え、下沼地区で酪農を始めました。引き続き2組目、3組目の方々に、幌延町で就農を希望してもらうため、本町の酪農が、魅力溢れる職業となるよう取り組んでいきます。



加藤 陸丈君

**質問要旨**

ふるさとの森でキャンプをしている人を見かけます。

ふるさとの森のキャンプ場に、ブルーポピーや遊具などを増やしてはどうでしょうか。

**答弁要旨**

ふるさとの森は、

ブルーポピーに必要な土壌環境が整っていないため、現状では難しいと考えます。ブルーポピーは、トナカイ観光牧場に隣接するノースガーデンで、6月・7月に見ることができま

す。新たな遊具の設置は考えて

いませんが、町では昨年度、ふるさと森のキャンプ場のコテージと管理棟の改修を行いました。今年度はトイレや、公園内敷地の駐車場や通路、排水などの整備を行います。

今後、利用者が増加し、幌延町を訪れる観光客が増えること

を期待をしています。



金田 陵希君

**質問要旨**

幌延には海岸線があります。沼からはシジミを捕ることができません。

新しい産業として、漁業をやってみてはどうでしょうか。

**答弁要旨**

幌延町でも大正から昭和にかけて、春はニシン漁、秋はさけ漁を中心とした漁業が盛んに行われていました。昭和29年まで54戸が浜里地区に入植し、組合も組織され、漁業が営まれていました。

しかし、昭和28年を境に、浜里地区の漁業を支えてきたニシンの不漁が続き、安定した収益を得ることができなくなったことや、漁船を係留する漁港がなかったことから、多くの漁業者は天塩町や豊富町に転出し、幌延町の漁業は衰退していきま

す。

た。

現在、浜里海岸での漁や、天塩川とその支流、パンケ沼で行うシジミ漁は、天塩漁協が漁業権を取得して行っています。漁業権が設定されていない川や養殖などは本町でも可能であり、町も協力したいと思います。



白田 小葉さん

**質問要旨**

幌延町の人口は毎年

年少しずつ減ってきています。私のクラスは、4〜5人程度引越し、20人程いたクラスメイトが、今は15人となってしまいました。これからも人口減少は止まらず、進むかもしれません。どのような対策を考えていますか。

**答弁要旨**

今の人口は約2千

4百人ですが、60年ほど前、幌延町には7千5百人くらいの方がいました。